

作成日 : 2007年12月 3日  
 改訂日 : 2023年 3月29日 (第3版)

## 安全データシート

### 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	ホットコンビフロアブル
製品コード	BHEC
供給者の会社名称	株式会社エス・ディー・エス バイオテック
住所	東京都千代田区神田練堀町3番地
担当部門	安全環境・品質保証室
電話番号	03-6867-8313
FAX 番号	03-6867-8329
緊急連絡先	03-6867-8313
奨励用途	農薬 (除草剤)
使用上の制限	農薬登録内容以外での使用は不可
整理番号	1 5 1 2 - 1 1

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS分類

##### (物理的及び化学的危険性)

爆発物	区分に該当しない
可燃性ガス	区分に該当しない
エアゾール	区分に該当しない
酸化性ガス	区分に該当しない
高压ガス	区分に該当しない
引火性液体	分類できない
可燃性固体	区分に該当しない
自己反応性化学品	区分に該当しない
自然発火性液体	区分に該当しない
自然発火性固体	区分に該当しない
自己発熱性化学品	分類できない
水反応可燃性化学品	区分に該当しない
酸化性液体	分類できない
酸化性固体	区分に該当しない
有機過酸化物	区分に該当しない
金属腐食性化学品	分類できない
鈍性化爆発物	区分に該当しない

##### (健康に対する有害性)

急性毒性 (経口)	区分に該当しない
急性毒性 (経皮)	区分に該当しない
急性毒性 (吸入: 気体)	区分に該当しない
急性毒性 (吸入: 蒸気)	分類できない
急性毒性 (吸入: 粉じん)	区分に該当しない
急性毒性 (吸入: ミスト)	分類できない

皮膚腐食性/刺激性	区分に該当しない
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分に該当しない
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	区分に該当しない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	分類できない
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	分類できない
誤えん有害性	分類できない

(環境に対する有害性)

水生環境有害性 短期 (急性)	区分1
水生環境有害性 長期 (慢性)	区分2
オゾン層への有害性	分類できない

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語	警告
危険有害性情報	水生生物に非常に強い毒性 長期継続的影響により水生生物に毒性
注意書き	必要なとき以外は、環境への放出を避けること。 漏出物を回収すること。 内容物/容器を法/条例に従って廃棄すること。
安全対策	
応急措置	
廃棄	

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	混合物
化学名又は一般名	テニルクロール・ベンゾビスクロン水和剤
成分及び濃度 (含有率)	

(成分)	(化学名/化学式)	(含有率)	(CAS番号)	(官報公示整理番号)	
				(安衛法)	(化審法)
<成分①> テニルクロール	2-クロロ-N-(3-メトキシ-2-テニル)-2',6'-ジメチルアセトアニリド /C <sub>16</sub> H <sub>18</sub> ClNO <sub>2</sub> S	4.0 %	96491-05-3	8-(6)-147	—
<成分②> ベンゾビスクロン	3-(2-クロロ-4-メシルベンゾイル)-2-フェニルチオビスクロ[3.2.1]オクタ-2-エン-4-オン /C <sub>22</sub> H <sub>19</sub> ClO <sub>4</sub> S <sub>2</sub>	4.0 %	156963-66-5	7-(2)-168	—
<成分③> 水、界面活性剤等	—	92.0 %	—	—	—

4. 応急措置

吸入した場合	被災者を空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる
--------	--------------------------------

	こと。直ちに医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	多量の水で洗うこと。 皮膚刺激又は発疹が生じた場合、医師の診察/手当てを受けること。 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用して いて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 眼の刺激が続く場合は、眼科医の診察/手当てを受けること。
飲み込んだ場合	口をすすぎ、無理に吐かせない。医師の診察/手当てを受けること。
<b>5. 火災時の措置</b>	
適切な消火剤	霧状水、粉末消火剤、二酸化炭素、泡消火剤等
使ってはならない消火剤	情報なし
火災時の特有の危険有害性	燃焼ガスには、一酸化炭素、窒素酸化物、硫黄酸化物、塩化水素等 が含まれる。
特有の消火方法	消火のための放水等により、消火水が下水や河川等の水系に流れ込 まないよう適切な措置を行うこと。
消火活動を行う者の特別な保 護具及び予防措置	適切な保護具（手袋、眼鏡、マスク）を着用すること。 風上から消火活動を行うこと。
消火時の注意	移動可能な容器は速やかに安全な場所に移すこと。
<b>6. 漏出時の措置</b>	
人体に対する注意事項、保護 具及び緊急時措置	漏出時の処理作業には、適切な保護具（手袋、眼鏡、マスク）を着 用すること。回収が終わるまで十分な換気を行うこと。
環境に対する注意事項	河川、湖沼等の水系に流入しないよう十分注意すること。
封じ込め及び浄化の方法及び 機材	直ちに、オガクズ、土砂等の吸着材に吸着させ、密閉できる空容器 に回収すること。
二次災害の防止策	付近の着火源となるものを速やかに取り除くこと。
<b>7. 取扱い及び保管上の注意</b>	
取扱い	
技術的対策	取扱いは換気のよい場所で行うこと。
安全取扱い注意事項	容器の破損や容器からの漏洩に注意すること。かぶれやすい体質の 人は取扱いに十分注意する。
接触回避	情報なし
衛生対策	吸い込んだり皮膚や眼に触れないよう、長袖の作業衣、保護手 袋、保護マスク、保護眼鏡等を着用して、できるだけ風上から作業 すること。 取扱い後は、手、顔、眼等をよく洗い、うがいをする。
保管	
安全な保管条件	換気の良い乾燥した冷暗所に密閉して保管すること。
安全な容器包装材料	製品容器包装材料に準ずること。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度等	
管理濃度	未設定
許容濃度	日本産業衛生学会で未設定
設備対策	設備の密閉化、局所排気装置の設置・使用、又は全体の換気を適切に行うこと。 取扱い場所の近くに、緊急時に洗眼及び身体洗浄を行うための設備を設置すること。
保護具	
呼吸用保護具	保護マスク
手の保護具	ゴム手袋
眼、顔面の保護具	側板付き普通眼鏡型又はゴーグル型保護眼鏡
皮膚及び身体の保護具	保護服（長袖、長ズボン）、保護長靴

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	水和性粘稠懸濁液体
色	淡褐色
臭い	情報なし
沸点又は初留点及び沸騰範囲	情報なし
可燃性	情報なし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃範囲	情報なし
引火点	情報なし
自然発火点	情報なし
pH	7.2 (20 g/80 mL水溶液)
動粘性率	情報なし
蒸気圧	情報なし
密度 (比重)	1.05 (25 °C)
相対ガス密度	情報なし

10. 安定性及び反応性

反応性	通常の手扱いにおいては反応性なし。
化学的安定性	通常の手扱い条件においては安定。
危険有害反応可能性	情報なし
避けるべき条件	情報なし
混触危険物質	情報なし
危険有害な分解生成物	燃焼ガスには、一酸化炭素、窒素酸化物、硫黄酸化物、塩化水素等が含まれる。

11. 有害性情報

急性毒性 経口 LD <sub>50</sub>	>2,000 mg/kg (雌ラット) (区分に該当しない)
経皮 LD <sub>50</sub>	>2,000 mg/kg (雌雄ラット) (区分に該当しない)
吸入 LC <sub>50</sub>	情報なし (分類できない)
皮膚腐食性/刺激性	刺激性なし (雌ウサギ) (区分に該当しない)
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	刺激性あり (雌ウサギ) (GHS分類以下の刺激性で、区分に該当しない)

呼吸器感作性	情報なし (分類できない)
皮膚感作性	陰性 (雄モルモット) (区分に該当しない)
生殖細胞変異原性	情報不足 (分類できない)
発がん性	情報不足 (分類できない)
生殖毒性	情報不足 (分類できない)
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	情報不足 (分類できない)
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	情報不足 (分類できない)
誤えん有害性	情報なし (分類できない)

## 12. 環境影響情報

### 生態毒性

魚類:	コイ	LC <sub>50</sub> (96 hr)	29 mg/L
甲殻類:	オオミジンコ	EC <sub>50</sub> (48 hr)	150 mg/L
藻類:	緑藻	ErC <sub>50</sub> (0-72 hr)	0.40 mg/L
		NOECr	0.13 mg/L

上記の結果から、水生環境有害性 短期 (急性) を区分 1 とし、速やかな分解性のない成分を含むことから、水生環境有害性 長期 (慢性) を区分 2 とした。

残留性・分解性	情報なし
生体蓄積性	情報なし
土壌中の移動性	情報なし
オゾン層への有害性	情報なし (分類できない)

## 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物:	関連法規ならびに地方自治体の規則を遵守し、適切に行うこと。
空容器、空袋、汚染容器等:	内容を完全に除去し、関連法規ならびに地方自治体の規則を遵守し、適切に行うこと。

これらの処理を委託する場合は、所轄の地方自治体の許可を得た産業廃棄物業者に委託すること。

## 14. 輸送上の注意

### 国際規制

国連番号	UN 3082
品名 (国連輸送名)	環境有害物質 (液体)、他に品名が明示されていないもの (テニルクロール、ベンゾビスクロン混合物)
国連分類	クラス 9
容器等級	III
海上輸送	IMO/IMDGの規定に従う。
航空輸送	IATA/ICAOの規定に従う。
海洋汚染物質	該当
輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策	輸送前に容器の破損、漏れ等がないことを確認する。転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。輸送容器には衝撃を与えないように丁寧に取扱う。転倒させたり、激突させたりしない。
国内規制	
陸上輸送	規制されていない。

海上輸送	船舶安全法に定められている運送方法に従う。
航空輸送	航空法に定められている運送方法に従う。
応急措置指針番号	171

15. 適用法令

農薬取締法	農薬登録番号 第23199号
化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法)	3-(2-クロロ-4-メシルベンゾイル)-4-フェニルスルファニルビシクロ[3.2.1]オクタ-3-エン-2-オン (別名ベンゾビシクロン) : 第一種指定化学物質 (2023年4月1日以降、管理番号 621) 4.0%
労働安全衛生法	該当しない
毒物及び劇物取締法	毒物・劇物に該当しない
消防法	消防法危険物に該当しない
化審法	第一種特定化学物質、第二種特定化学物質に該当しない
船舶安全法	環境有害物質 (液体) 有害性物質 等級9
航空法	その他の有害物件 分類番号9
海洋汚染防止法	該当しない

16. その他の情報

参考文献、資料等： テニルクロール原体：安全データシート (株) エス・ディー・エス バイオテック)  
ベンゾビシクロン原体：安全データシート (株) エス・ディー・エス バイオテック)

記載内容の取扱い：

- ・ 記載内容はこの製品の一般的な取扱いに関する情報提供であって、いかなる保証をなすものではありません。
- ・ 記載内容は現時点で一般的に入手可能な情報に基づいて作成しておりますが、全ての情報が網羅されているわけではありません。
- ・ 新たな情報を入手した場合は改訂されることがあります。
- ・ 注意事項は通常の取扱いを対象にしたものですので、特殊な取扱いの場合は、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。